

# いつも前向き、即行動 なんでも相談してください

日本共産党

**みんなが幸せになる社会をめざしてまっしぐら!**

区議会に送り出していただき4期16年。みなさんの切実な声や願いを区政に届け、その実現に全力をあげてきました。

今年は、戦後・被爆70年です。安倍政権の「海外で戦争する国」づくりにストップをかけ、なんとしても平和憲法を守りぬき、子どもたちに平和をつないでいく決意です。

4月の区議選で、区民の暮らし第一の区政へ前進させ、消費税10%・格差拡大・社会保障改悪・原発再稼働・辺野古新基地建設など安倍政権の暴走に、さらにきびしい審判を下しましょう。

**大田区議会議員(4期)**

菅 谷 いく え

**すがや郁恵**です

お元気  
ですか

大田民報

2015年春季号外 日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。  
発行 大田民報社 大田区北馬込1-4-12 佐藤勲方

事務所 大森西5-6-11 ☎ 03-3768-5844  
ホームページ [すがや郁恵](#) 検索 [@iku\\_e\\_j\\_cp](#)



# 子どもたちのために

すがや郁恵



子どもたち・父母の願いで区政動かす

認可保育園21か所増設

4年間で1300名分、さらに600名分実現へ

数年前まで認可保育園はつくりたくないといっていた大田区とその与党。そのもとの、待機児は1700名をこえました。

すがや郁恵区議は、

「認可保育園に預けて安心して仕事をしたい」という子育て世代の切実な願いにこたえ、財源も示して予算の組み替えを提案し、ねばりづよく増設を迫ってきました。お父さん・お母さんたちと一緒に署名運動にも取り組みました。

こうして区政を動かし、この4年間で21園、1300名分の認可保育園が増設されました。さらに、区が600人分の増設を表明しました。

## 少人数学級を実現

PTA会長にも推されたすがやさんは、不登校やいじめなど子どもたちの悩みや喜びによりそうなかで、もっと一人ひとりの個性が大切にされる、ゆき届いた教育が必要だと強く思いました。そのために、一日も早く1学級40人を30人以下にと主張しつづけてきました。

3年前、ついに小学1・2年生で、そして2年前に中学1年生で35人学級が実現しました。いま、国は40人学級に戻そうとしています。すがやさんは「そんなことは許せない。全学年30人学級こそ」と奮闘しています。



保育現場21年  
の熱い思いで

# なによりも未来をになう

## 特別支援学級が大森東中学校にも

知的障害児のための特別支援学級が大森東中学校にも開設されます。障害児を持つお父さん・お母さんから、「自宅の近くにほしい」「足りない」とよせられた切実な声で、大田区にその実現を求めてきました。

### 幼いころから

### 「赤ちゃん大好き」

末っ子のすがや郁恵さん。幼いころは近所の赤ちゃんをおんぶしては、とてもご機嫌でした。いつしか夢は「子どもにかかわる仕事がしたい」。20歳で大田区立羽田保育園に就職。初めての受け持ちは1才児。この子もまるでわが子のように、お母さんになった気持ちでした。

ある日、子どもを迎えに来た母親が、家族の介護に疲れて涙を流す姿に話を聞くだけでしたが、保育は父母の支えも求められる奥の深い仕事だと実感しました。

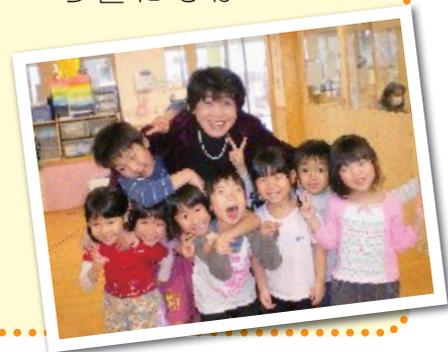
### より良い保育のために

子どもたちの大好きな絵本の予算減らしや用務員の廃止にたいし、区との交渉や署名活動などに、休みもなかけ回りました。そして、子どもたちの幸せのためには「政治を変えることが必要だ」と痛切に思いました。のちに区議会議員となる決意につながります。

### 平和を願い、日本共産党へ

よい劇や文化を子どもたちにもみせる親子劇場のサークルの中で、たくさんの仲間たちに出会い、命がけで戦争反対をつらぬいた日本共産党を知りました。小林多喜二の「党生活者」で、母親が人目を避けて多喜二と会う場面では、読み返すたびに涙を流すすがやさん。

「みんなが幸せになる社会を」と、日本共産党に入党、22歳でした。



# い人びとによりそい

すがや郁恵



4年間で

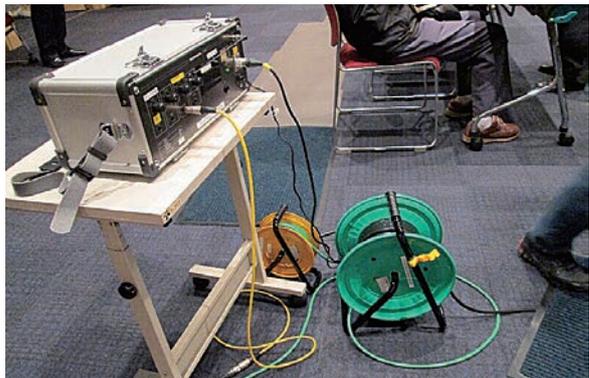
特養ホーム5か所実現

「有料老人ホームは高額で、とても入れない」「家で介護しているが、自分が体をこわしたらどうなるんだろう」などの切実な声があふれています。いま、大田区の入所待機者は1千5百人にもなっています。

すがや郁恵さんは、国や都の未利用地の活用などを提案し、大森西四丁目を含め、この4年間であらたに5か所の特養ホームが実現します。

難聴者のための  
磁気ループ拡充

公共施設への磁気ループの設置を議会で要望、「中途失聴、難聴者の会」の対区要請にも同行し、貸出用磁気ループを障害福祉課に常備、サポーターピアへの設置も実現しました。



貸出用磁気ループ装置

すがや議員  
がんばれ!

人生の途中で突然聴力を失い、社会の谷間でひっそりとして過ごしている方がたが生きる勇氣と希望を取り戻すために仲間とともに「大田区中途失聴・難聴者の会」を立ち上げました。

書いて伝える要約筆記、即時性のある手話、補聴器を使う磁気ループ等は、情報時代に必要なコミュニケーション手段です。

そんな時に、すがや議員がいち早く気づいて、力になっていただき、本当に心強く、うれしく思いました。

これからも応援しますので、どうかがんばってください。  
大森西 名倉順子

# 持ち前のやさしきで社会的に弱

## 東日本大震災 被災者支援

だれもが認めるすがや郁恵さんの「優しさ」は、東日本大震災の際にも、大きく発揮されました。

直ちに区長に対して、区内の被災状況調査と被災者支援、東北の現地への救援隊派遣を要請しました。

## 被災地ボランティア

居ても立ってもいられず、区民のみなさんから急ぎよ寄せられた救援物資を車に積み込み、仲間たちと宮城県石巻市に飛びました。仮設住宅では一戸ずつ訪問、被災者の要望を聞いて回りました。

## 毎年、支援バザーで

国の支援は、まだまだ遅れています。一日も早く落ち着いた生活を取り戻せるよう、毎年3月11日には、区民のみなさんの協力を得て、すがや郁恵事務所前で支援バザーを続けています。

## 原発事故避難者と交流

大森西の都民住宅に避難している福島の方がたと交流しながら、自宅に戻れる日まで少しでも安心して大田区で暮らせるよう、区に避難者の要望を伝えるなどの支援しています。

## みずから放射線量測定



原発事故の放射能汚染を不安に思っていた時、すぐに行動してくれたのがやさんでした。放射線量を定期的に測り、子どもたちの遊び場の安全を確認してくれました。ありがとうございました。

大森西 井上由佳利



◀被災地に救援物資を届ける。2011年7月

# 働き続けられる大田区に

すがや郁恵



雇用の70%は中小企業。中小企業を支えてこそ、雇用も地域経済も守れます

## 中小企業。 商店支援にも全力

### ●プレミアム付商品券の予算拡大・継続

区内共通商品券に「プレミアム付きの支援を」と、繰り返し区にもとめ、ついに2009年に実現、以来6回実施されました。

### ●住宅リフォーム助成の実現・予算拡大

建設業者のみなさんなどと力を合わせ、助成額の20倍もの経済効果を生み出す住宅リフォーム助成制度を実現しました。いま、リフォーム対象を商店や町工場にも広げる条例を提案しています。

### ●全事業所調査

減り続ける町工場や商店。支援策作成の基礎となる全事業所調査を、区内の業者団体や労働組合などのみなさんと力を合わせて、区に実施させました。結果を地域経済振興に生かします。



## 青年の使い捨ては許しません！

### 若者の意欲が生きる社会へ決意新たに

専門学校を卒業し、意欲を持って、電気設備会社の正社員になった20歳のAさんから、すがや郁恵さんに相談がありました。

「わずか1週間の研修で、一人で修理の現場、直せないと怒られる。残業代は9時以降だけ。上司に掛け合っても相手にされず、同僚は、あきらめるか、退社していく。泣き寝入りはしたくない」と。

# 躍進した力でさらに 安倍内閣の暴走政治 ストップへ全力

## 日本共産党

**消費税** 10%への増税は許しません

**貧困・格差の拡大** 大企業本位のアベノミクスから、

「国民の暮らしをあたため日本経済を再生する道」に転換します

**集団的自衛権** 憲法九条を守り、戦争する国づくり許しません。子どもたちに「日本の戦争は正しかった」と教える中学校教科書は、使わせません

**原発** 再稼働ストップ、自然エネルギーへの転換。大田区の技術を生かします

**米軍基地撤去** 「オール沖縄」の声を踏みにじる辺野古新基地建設は許しません。  
米軍基地のない日本と沖縄を

©カクサン部!



# いつまでも

- 早速、労働組合を紹介、会社と交渉し、残業代をとりもどしました。でも、残念ながら、会社は退職することになりました。すがやさんは、若者の希望を掴み取るような雇用は許せないと、決意を新たにしています。
- 労働相談の窓口を区役所に設置させます。
  - 新卒者の区内就職を促進します。
  - 区の仕事の民間委託は、官製ワーキングプアの温床です。保育園・図書館などの民間委託をやめさせ、安定した雇用を進めます。

# 実現します



区民の暮らし第二の区政へ、  
全力をつくします

日本共産党区議会議員

すがや郁恵

## 3つのゼロへ

75歳以上の医療費ゼロ  
認可保育園待機児ゼロ  
特養ホーム待機者ゼロ

財源があります。新空港線「蒲蒲線」  
などの大型開発をやめ、大田区が積み  
立てている1千億円の一部でできます。

- ★ 国民健康保険料を値下げ
- ★ 30人学級を全学年に拡充
- ★ 認証保育園保護者負担の軽減補助金を拡充  
します
- ★ 区立保育園の営利企業への委託をストップ  
させます
- ★ 若者・子育て世代への家賃助成制度  
おとしよりを大切に
- ★ 「安全・安心ネットワーク」づくり、高齢者用の公  
的住宅増設
- ★ 町工場への直接支援、町工場・商店のリフ  
ォーム助成
- ★ JR・京急駅にホームドアの設置
- ★ 平和島駅前の横断歩道の改善
- ★ 住民の声を生かした京急高架下の活用

**〈プロフィール〉** 1958年（昭和33年）、長崎県生まれ。1978年（昭和53年）から大田区立羽田・弁天橋・東糀谷保育園で保育士21年。労働組合役員としても、保育行政の充実に父母とともに取り組む。1999年（平成11年）区議会議員に当選、現在4期目。3人の子どもを育てながら、子育て相談や教育問題にも積極的に取り組む。元大森東中PTA会長。

**家族：**夫・2女1男。**趣味：**コーラス、フラダンス。**【活動地域】** 大森西、大森東1～3、大森本町、平和島